スポーツ少年団バドミントン団体各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和３年１１月

仙台市スポーツ少年団バドミントン新春交流大会兼南三県交流大会参加のお願い

 東日本大震災でなくなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆様への一日も早い復興をお祈り申し上げます。

　さて、東北南三県（福島・山形・宮城）の子ども達を対象としたこの大会も今年でもう１１回目となります。毎年たくさんの方々に参加していただき本当にありがとうございます。

早いものであの大震災から１０年９ヶ月が経ちました。復興はかなり進み、新しい生活にとまどいながらもしっかりとけんめいに命を繋いでいます。また、被災した施設を震災遺構として整備し後生へ伝えていく取り組みも各地で行われています。

また、毎年地震や水害などで大規模な災害が多数おこっています。今後とも被災地の方々が元気になるように私達のできることをしていきたいと思っています。

その為に少しではありますが引き続き大会の剰余金を様々な災害の被災者の方々への義援金として日本赤十字社に寄付していきます。

　新型コロナウイルスの感染者が全国で増えている現状ではありますが、感染予防をしっかりと行いながら大会を開催して行きたいと思いますので、ご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお今回の大会は密を避けるために小学生と中学生の日にちを別にすると同時に定員を設けますのでご注意下さい。小学生３００名中学生１５０名とし、更に各チーム１種目シングルス３名以内ダブルス２組以内とします。（ただし、運営の関係上仙台市内のチームは除外します）

また、感染状況が悪化した場合、大会を中止や変更する場合もありますのであらかじめご了承下さい。

仙台市スポーツ少年団バドミントン部会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　　加藤　宏